

令和8年1月26日（月曜日）

第1回松島町議会臨時会会議録

（第1日目）

令和8年第1回松島町議会臨時会会議録（第1号）

出席議員（14名）

1番	熊谷拓郎	君	2番	本田翔也	君
3番	櫻井貞子	君	4番	中西傳	君
5番	菅野隆二	君	6番	米川修司	君
7番	井上浩	君	8番	櫻井靖	君
9番	安部孝	君	10番	赤間幸夫	君
11番	色川晴夫	君	12番	片山正弘	君
13番	高橋幸彦	君	14番	高橋利典	君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町長	櫻井公一	君
副町長	熊谷清一	君
総務課長	千葉繁雄	君
財務課長	安土哲	君
企画調整課長	千葉忠弘	君
町民福祉課長	相澤光治	君
健康長寿課長	齊藤恵美子	君
産業観光課長	太田雄	君
建設課長	岩渕茂樹	君
会計管理者	佐藤進	君
会計課長	大宮司綾	君
水道事業所長	赤間春夫	君
危機管理監	田瀬高広	君
総務課総務管理班長	岸淳一	君
教育長	内海俊行	君
教育次長兼課長	蜂谷文也	君

監 査 委 員

丹 野 和 男 君

事務局職員出席者

事 務 局 長 千 葉 浩 司

主 事 庄 司 広 紀

議 事 日 程 (第 1 号)

令和 8 年 1 月 2 6 日 (月曜日) 午前 1 0 時 0 0 分 開会

日程第 1 会議録署名議員の指名

〳 第 2 会期の決定

1 月 2 6 日の 1 日間

〳 第 3 議案第 1 号 令和 7 年度松島町一般会計補正予算 (第 6 号)

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午前10時00分 開 会

○議長（高橋利典君） 皆さん、おはようございます。

ただいま出席議員が13名であります。定足数に達しておりますので、これより令和8年第1回松島町議会臨時会を開会いたします。

傍聴の申出があります。お知らせをします。―――さんです。

それでは、本日の会議を開きます。

町長より挨拶を求められておりますので、これを許可します。櫻井町長。

○町長（櫻井公一君） 本日、第1回松島町議会臨時会を開催するに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様には大変お忙しい中ご参集を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本日提案いたします議案は、物価高騰対応重点支援地方創生事業費等に係る令和7年度松島町一般会計補正予算の1件でございます。後ほど、提案理由を説明させていただきますので、ご審議の上、ご承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（高橋利典君） それでは、本日の議事日程はお手元に配付しております。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（高橋利典君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第124条の規定により、7番井上 浩議員、8番櫻井 靖議員を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（高橋利典君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りをいたします。本臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思っております。これに異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋利典君） 異議なしと認めます。よって、会期は本日1日と決定をいたします。

日程第3 議案第1号 令和7年度松島町一般会計補正予算（第6号）

日程第3、議案第1号令和7年度松島町一般会計補正予算（第6号）を議題といたします。

議案の朗読を省略し、提案理由の説明を求めます。櫻井町長。

○町長（櫻井公一君） 議案第1号、令和7年度松島町一般会計補正予算（第6号）の提案理由を申し上げます。

今回の補正につきましては、松島町一般会計補正予算（第5号）に続き、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等を活用した事業費並びに衆議院議員総選挙執行に伴う準備諸経費に必要とする予算について補正するものであります。

補正の概要を、歳入歳出補正予算事項別明細書で説明いたします。

歳出につきまして、4ページをお開き願います。

2款総務費1項20目物価高騰対応重点支援地方創生事業費につきましては、物価高騰の影響を強く受けている子育て世帯の負担軽減を図るため、国から給付される子育て応援手当の受給者に対し、町独自の上乘せ分として児童1人当たり2万円を追加給付するものであります。

5ページにわたります。

4項6目衆議院議員総選挙費につきましては、衆議院議員総選挙の執行に伴う選挙投開票経費及び投票所入場券等経費等を補正するものであります。

歳入につきまして、3ページをお開き願います。

13款地方交付税1項1目地方交付税につきましては、令和7年度分の地方交付税について追加交付された普通交付税を補正するものであります。

17款国庫支出金2項7目物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金につきましては、歳出でご説明しました物価高騰対応重点支援地方創生事業に対するものであります。

3項1目総務費委託金につきましては、歳出でご説明しました衆議院議員総選挙費に対するものであります。

これらの財源を精査し、減債基金への積立金及び財政調整基金繰入金を補正するものであります。

なお、詳細につきましては、担当課長より説明させます。よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（高橋利典君） 提案説明。千葉企画調整課長。

○企画調整課長（千葉忠弘君） それでは、2款総務費1項総務管理費20目物価高騰対応重点支援地方創生事業費につきましてご説明いたします。

主要事業説明資料をご覧ください。

歳入歳出補正予算事項別明細書につきましては、4ページとなります。

今回の補正につきましては、令和7年11月21日に閣議決定されました「強い経済」を実現

する総合経済対策～日本と日本人の底力で不安を希望に変える～」に掲げる、地域の実情等に
応じた物価高対策の推進の事項に基づく、物価高の影響緩和に資する施策を推進し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた住民及び事業者に対する支援の迅速かつ有効な実施を目的とするものでございます。

今回の補正に至った経緯でございますが、当初、内閣府からの指示で、前年度の物価高騰対応支援地方創生臨時交付金額の330%増で事業を設計し、できる限り年内で予算措置するよう指示があったこと、また、できるだけ早く町民の皆さんや事業者の方々へ支援が行き届くよう、当町では12月議会における追加補正で家計応援商品券配布事業等3事業につきましてご承認を賜りましたが、その後、正式に交付限度額が届きました。その金額が見込んでいた金額よりも1,970万9,000円が増額決定されたことに伴いまして、今回補正計上するものでございます。

財源内訳でございますが、後ほど説明させていただきます。

1事業の総事業費は2,833万5,000円となり、国費として物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金1,970万9,000円、町の一般財源が862万6,000円でございます。

個別1事業の詳細につきましては、事業担当課長から説明いたします。

○議長（高橋利典君） 相澤町民福祉課長。

○町民福祉課長（相澤光治君） それでは、主要事業説明資料、下段の事業内容のところをご覧ください。

令和7年度物価高対応子育て応援手当事業費（追加支給分）につきましては、12月議会での補正予算で計上しておりました、児童1人当たり2万円の手当を支給する子育て応援手当の受給者に対し、町独自の上乘せ分として児童1人当たり2万円を追加給付するもので、児童1,400人、780世帯を見込んでおります。

12月補正の子育て応援手当につきましては、1月中に712世帯、1,266人分の支給を完了しておりますので、その方々へは追加支給分についてもプッシュ型で速やかに給付し、これから子育て応援手当の申請をされる方につきましては同時に追加給付分を支給することとなります。

事業費につきましては、手当及び事務費の合計2,833万5,000円を計上しており、財源につきましては物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当しております。

以上で説明を終わります。

○議長（高橋利典君） それでは、提案理由の説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑ございませんか。5番菅野隆二議員。

○5番（菅野隆二君） 2点だけ質問させていただきます。

子育て支援というところでプラス2万円ということで、私もありがたいなというところではあるんですが、この2,800万円ではかに何か検討したようなこととかあれば教えていただきたかったです。お願いします。

○議長（高橋利典君） 答弁、千葉企画調整課長。

○企画調整課長（千葉忠弘君） 事業選定に当たり、町長はじめ各課長で意見交換したところでございますが、各、例えば農林業、水産業、それからデジタルクーポン、そのような提案はございましたが、今回は町民の方々を主眼に置きました支援をすることをまず一番の考えとして、子育てのほうに給付するというので提案させていただくことになりました。

以上でございます。

○議長（高橋利典君） 菅野隆二議員。

○5番（菅野隆二君） ありがとうございます。

もう1点、選挙の部分なんですけど、急遽というところで、現場のほうに負担多くなっているんじゃないかなとか、報道とかを見ていて感じるんですけど、その辺の状況をちょっと確認したくてですね、お願いします。

○議長（高橋利典君） 千葉総務課長。

○総務課長（千葉繁雄君） 確かに23日に選挙の公示と投開票日が正式に発表されていますので、投票用紙についても日曜日に送付を受け、今日も事務局長は出ていませんが、選挙人の登録名簿の確定の県の情報とのやり取り、それから待機をちょっと求められているということで、事務方としては慌ただしく今やっているという状況です。

○議長（高橋利典君） 菅野隆二議員。

○5番（菅野隆二君） 職員さん、多くの方も関係してくると思うんですけど、その辺があまりにも負担になっていないかだけ、最後に確認させてください。

○議長（高橋利典君） 千葉総務課長。

○総務課長（千葉繁雄君） 選挙全般そうなんですけど、一応、選挙になりそうだという前提で、もう総務管理班の職員中心に動いていますので、そこは滞りのないように、通常業務は班内の職員で割り振りしながら適切に処理できております。

○議長（高橋利典君） よろしいですね。（「はい」の声あり）

他にございますか。10番赤間幸夫議員。

○10番（赤間幸夫君） 10番赤間です。

ごくごく疑問というか、こういう組み方がいいのかどうかということで、予算組みのいわゆ

る12月の5号で補正をかけたときに、町民福祉課のこども支援班で予算説明に係る資料等を添付してあって、今回は企画調整さんのほうでの資料添付で、要するに3款と2款で組み分けされているんですね。同じ事業内容に対してですね。それをまず疑問に思っていますので、これは将来的には普通会計の決算の際の分析、長総に描くときに、どうしてこういったことになっているのかなというふうに疑問、単純に思うもんですから、その辺、まず最初に説明を求めます。

○議長（高橋利典君） 安土財務課長。

○財務課長（安土 哲君） 12月補正予算のほうで計上させていただいた給付分につきましては、児童手当のいわゆる上乘せ分ということで3款2項の児童福祉費のほうで計上させていただきました。今回、町独自の取組ということで、重点支援交付金を原資に給付を行うということで、2款総務費のほうで計上したという整理になっております。

以上です。

○議長（高橋利典君） 赤間幸夫議員。

○10番（赤間幸夫君） 最終的には、福祉費と総務費というふうに款的に使い分けされて云々するんだけど、どこかでやり取りして一本になるということはあるんですか。

○議長（高橋利典君） 安土財務課長。

○財務課長（安土 哲君） 補正予算等の議会の議決項目は款項までですので、2款と3款が一緒になることはないよと。ただし、手元に届く住民の皆さんに対しては、2款、3款、どちらに関しても一人の方に届くようになっていきますので、そこは滞りなく進めてまいりたいと思います。

以上です。

○議長（高橋利典君） 赤間幸夫議員。

○10番（赤間幸夫君） 1,400人を対象にした780世帯、この方々に対しては早々、どんなお金の出し方をしようか、トータル4万円ほどのそういったいわゆる子育て支援補助金という名目で受け取るということについては問題ないと思うんですけども、要は財政運営上の話として、そういった在り方がまず基本的にどうなのかというところが直近でこの1か月足らずの中であるからね。この在り方について内部でちょっと確認はしているのかな、どうかなというところも聞きたかったからですけれども、今質問を差し上げたのね。

それで、それについては大体分かりましたのでいいんですけども、要は今度は今回の補正のいわゆるタイムスケジュール的にもうちょっと細部にわたって、この2万円を追加でつけて

最終的に対象者の手元に行くのはどれくらいのスケジュールで見ておられるかだけちょっとお聞かせください。

○議長（高橋利典君） 相澤町民福祉課長。

○町民福祉課長（相澤光治君） 先ほどもご説明の中でお話ししましたが、12月補正させていただいた分につきましては、1月中に既に1,266名の児童分の手当の支給手続を完了しております。この後、交付申請がされるのが、新しく3月31日までに生まれたお子様の方、もしくは公務員の方の手続がまだ残っておりますので、そちらの方々につきましては今後申請が出されるものと思います。

今回補正を決定させていただきますと、そのスケジュールにつきましては、2月中に事務手続をいろいろ行いまして、決裁等を取りまして、対象者の方へプッシュ型で行う方々には、いついつ何月何日に振り込みされますのでという通知をまず差し上げます。それで、予定は2月中に、2月の下旬頃には支給できればいいなというふうには思っ準備を進めているところで

以上です。

○議長（高橋利典君） 赤間幸夫議員。

○10番（赤間幸夫君） ありがとうございます。どうしてもね、時期柄というか、この1月後半から2月中くらいに、お正月越して、どうしても話題がその辺の子供さんをお持ちの家庭ではあったりしたもんですから、しからば松島はどれくらいのスケジュールで見ておられるのかなと。近隣市町、あるいは仙台市等々と遜色ないタイミングで皆さんに配分というか、行き渡るんだらうなという見方をしておったもんですから、できるだけそれに沿うようお願いできたらなという思いで質問させていただきました。どうもありがとうございます。

○議長（高橋利典君） 他にございますか。3番櫻井貞子議員。

○3番（櫻井貞子君） 3番櫻井貞子です。

前回の12月の補正で、同じように2,800万円増額したときの事業費の内訳の中で、消耗品だったり役務費という部分があって、さらに委託料というのが計上されていたんですが、今回は委託費が計上されていないんですが、これはどういう理由なのか教えていただきたいと思

○議長（高橋利典君） 相澤町民福祉課長。

○町民福祉課長（相澤光治君） 12月で補正させていただいた事務費のうちの委託料につきましては、児童手当関係のシステム改修が必要になるおそれがありましたので、そちらを計上させ

ていただいております。今回計上しない理由につきましては、今回の対象者につきましては子育て応援手当を既に受給されている方、同じ方に追加で支給するものとなっておりますので、システム改修等の必要はないということから事務費の計上をしていないところです。

以上です。

○議長（高橋利典君） よろしいですか。櫻井貞子議員。

○3番（櫻井貞子君） 先ほど説明があったんですけども、国からの追加の交付金が増額されたという形で、12月議会のときに既に増額というか、ある程度の金額まで予想されていたら、二度も事業費を必要としなかったんじゃないのかなというふうに思うんですが、それは想定できなかったものなんですか。

○議長（高橋利典君） 安土財務課長。

○財務課長（安土 哲君） お答えします。

12月定例会の補正予算に計上した時点では、まだ交付決定額が見込みとしてしか示されておりませんでした。前回、重点支援交付金が前回の交付金にプラス330%ぐらいで見込んでいてくれという資料を基に原資として補正予算に上げたんですけども、その後、国の補正予算の第1号が通りまして確定額が出たということで、追加ということで今回、臨時議会のほうに提案させていただいているところでございます。

以上です。

○議長（高橋利典君） よろしいですか。7番井上 浩議員。

○7番（井上 浩君） 7番井上 浩です。

選挙費の件でお聞きしたいんですが、今回衆議院選ということで1,105万円と計上されていますが、ちょっと参考に教えてほしいんですけども、例えば参議院選と同じ金額なのか、いつもの概算ですね。あと、町議選と町長選、県議選、大体同じだと思うんですけども、その辺の金額をちょっと教えていただきたいと思います。

○議長（高橋利典君） 千葉総務課長。

○総務課長（千葉繁雄君） 参議院と町会議員選挙のちょっと今手元に数字がありませんが、衆議院議員の選挙のほうの方が費用はかかります。というのは、まず小選挙区、それから比例代表、それから国民審査ということで3つ投票箱が出てきますので、人的にまず必要になるということで、同じ国政選挙を比較しても、参議院選挙よりは衆議院議員選挙のほうの方が費用がかさむということになります。

以上です。

○議長（高橋利典君） 井上 浩議員。

○7番（井上 浩君） ありがとうございます。

あともう1件ちょっとお聞きしたかったんですが、先ほど子育ての振込のスケジュールをお聞きました。商品券のスケジュールもちょっとお聞きしたいなと思ひまして、仙台のほうはみやぎポイント、先週からもう3,000円もらえるような形になっているようなんですが、松島町の商品券のスケジュールをお願いいたします。教えてください。

○議長（高橋利典君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 今、商工会さんのほうで取扱店舗の募集とか、あと商品券の印刷関係、準備稿をしておる段階で、実際、町民の皆さんに郵送で商品券のほうが行き渡る予定としては、3月中下旬頃を予定しております。

以上です。

○議長（高橋利典君） 井上 浩議員。

○7番（井上 浩君） 町民のほうから、一応選挙とか関係ないと思うんですけども、選挙だからちょっと滞るんじゃないのという話がありましたのでお聞きしました。ありがとうございました。

○議長（高橋利典君） 他にございますか。9番安部 孝議員。

○9番（安部 孝君） 9番です。

子育て応援で今ご説明いただいたところで、決して否定するものではないんだけど、この間の12月の補正の中で、町内の高齢者の方からいろいろとお話を聞いた中で、もちろん子育て応援、子育て世帯応援大事なんですけれども、町の統計の資料の高齢人口のひとり暮らしの高齢者というのが令和6年でちょうど1,120人と出ているわけね。割合は21%ということだね。子育て世帯応援は大いに結構ですよ。ただし、去年も補正で2万円、今回も2万円ということで、町民全体の人口の割合とか世代の状況を分析したならば、私的にはひとり暮らしの高齢者の数、ちょうど千何がしてございますので、こういったところに対する配慮もあっていいのかなと思っています。

その高齢者の方は、大変町のほうから1万円ですか、そういうことで感謝ということもありながら、なかなか年金、あるいは病院、交通費の高騰、様々な部分で大変厳しいという話があったんですけども、笑顔あふれるという櫻井町長のメッセージがある中で、やっぱり町民全体を見ていくというようなところの配慮もあっていいかと思うんですけども、先ほどの答弁のやり取りでは子育て応援に一気にいった感があるんですけども、その辺の政策を決定するに当た

っての庁舎内の議論があったのかどうか、あるいは三役さん含めて課長の皆さんの意見交換があったのか、そういうところについてちょっと所見をお伺いします。

○議長（高橋利典君） 熊谷副町長。

○副町長（熊谷清一君） 今の質問では、ここに来るまで庁舎内でお話があったのかというお話でありますけれども、先ほどちょっと企画のほうですかね、庁舎内で今回のやつについての取扱いについて、二、三回ぐらいやりましたかね。その中で、まずターゲットをどこにしましょうという話の中で、高齢者もあり、それから一般町民は一切関係なく、さっきの質問の中にもありました。それとあと子供とか、あと農業、第一次産業系、こういう議論をさせていただきました。そういう中でいろんなご意見、今回2,800万何がしの中をどう取り扱うという話になって、最終的に課長等にかけて2回ぐらいやりましたね。その前に事務レベルでやったりして、そういう議論を数回やらせていただきまして、結果的に今回の取扱いになったということであります。

○議長（高橋利典君） 安部 孝議員。

○9番（安部 孝君） 今言った副町長の所見は理解するところであるけれども、私が言っているのは独り暮らしの高齢者数、独り暮らしに絞った庁舎内の議論というのがあったかどうか。

○議長（高橋利典君） 熊谷副町長。

○副町長（熊谷清一君） 具体的に独り暮らしとか、障害者とか、高齢者とか、そういう議論ではさせていただきました。だから、独り暮らしがということではなく高齢者として今どうなんだと。それとあと町民全体、高齢者の中にも町民全体で見たほうがいいでないとか意見がありました。だから、今言いました独り暮らしと具体的なところまでは話としては突っ込んでおりませんけれども、高齢者対応ということでの中身の話し合いはさせていただきました。

○議長（高橋利典君） 安部 孝議員。

○9番（安部 孝君） 税金ですからね。1円たりとも大事に使わなければいけないということで、予算を編成して重点項目を絞るときは、やはり具体的なところもチェックしないとイケないと思います。今、高齢者全般について議論したということなだけけれども、高齢者もいろいろいますから、本当に町内は40%ね、高齢者65歳いますから、そういう議論じゃなくて、本当に困っているところにお金を投入するにどうしたらいいかという議論をこれからやっていただきたい。今日はこの補正のイエス・ノーの話しかないんだけど、そういうきめ細やかなところの政策決定の議論というのはちょっと私は足りないと思っていますから、今後こういう予算をつくるときには、もうちょっと熟度の高い議論を庁舎内でやって、本当にここでいいのか

と、町民の皆さんはほかにニーズとしてあるかどうかということをしかりふだんから考えながら予算計上をするということについてお願いと要望、はい、町長の所見。

○議長（高橋利典君） 櫻井町長。

○町長（櫻井公一君） 今議員が独り暮らしの云々という話ありましたがけれども、12月の物価高騰対応を当初考えるときから、全ての各課長等々、持ち分野でどうなんだという話は全てやってきております。ですから、全体的なもの、高齢者一人だけのことを考えたかということ、その辺は少し薄かったかもしれないけれども、ただ独り暮らしの高齢者だからといって、必ずしも大変な方だけでもないということもあるわけでありますので、それは一端に松島町は高齢社会だから40%近い人は高齢者ということになるかと思う。

1万円の商品券を決める上でも、このときも議論になって、松島町ではどうすればいいかということで、商品券については各年代平等でとにかく1万円でいこうということで、各世帯3人いたら3万円、2人いたら2万円ということで、1人1万円ということでやらせていただいています。そういったもので高齢者の方、また健常者というんですかね、一般の方々も平等に対応させていただいたというのが今回であります。

12月の段階で、先ほどから全額の100%の物価高騰対応の支援金を考えては、後でマイナスになってもちょっと困るので、一応そこで10%ぐらいの余力を少し持ってやっていったということもあります。ですから、そういったことについて、今度第2弾としてどういったところにやるかということについては、各課で我々も含めて3回やらせていただいて、実際どうなんだという話も詰めた中でやらせていただいている経過があります。

そういったことで、とにかく今は町として子育てに少し町の姿勢もそこに行っている私の方針もあるので、そこに投資してほしいということで子育てに決めさせていただいたということでもあります。できるだけ早く対応ができるという利点もございましたので、12月に合わせて、今度は3月31日まで生まれる方も含みますけれども、そういったことも含めて町として支援をしていきたいというふうに申し上げ、決定しているのが現状であります。

○議長（高橋利典君） 他にございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋利典君） 質疑なしと認めます。質疑を終わります。

討論に入ります。討論参加ございますか。原案に反対者の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋利典君） それでは、他に討論の参加ございませんので、討論なしと認め、討論を

終わります。

これより議案第1号を採決いたします。

本案を原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（高橋利典君） 起立全員であります。よって、議案第1号令和7年度松島町一般会計補正予算（第6号）は原案のとおり可決されました。

本臨時会に付議された議案の審査は終了します。

令和8年第1回松島町議会臨時会を閉会いたします。

皆さん、大変ご苦勞さまでございました。

午前10時32分 閉 会